

全小中学校にGHP

岡崎市

公立67校・計1779教室へ導入

25LPガス校 西三保安センターが受託

岡崎市(内田康宏市長)は、市内公立小中学校67校(小学校47校、中学校20校)のエアコン設置済み15教室(普通教室、特別支援教室)を除いた1779教室すべての空調をGHPで行うことを決定した。LPガス仕様を25校、都市ガス仕様を42校が導入する。学校空調をすべてガスで賄うのは全国的にもまれな事例。市では、今回の都市ガス仕様を含めた設計から施工、維持管理までの10年間の費用を60億円と見込む。

設置は、普通教室のほかに、理科室、家庭科室、図工室、保健室、給食室などが含まれている。普通教室など日常的に利用する教室は6月から使用できる体制を目指し、現在急ピッチで作業を進め

設置は、普通教室のほかに、理科室、家庭科室、図工室、保健室、給食室などが含まれている。普通教室など日常的に利用する教室は6月から使用できる体制を目指し、現在急ピッチで作業を進め

は、センターの収益をもとに災害時に強いLPガスの特性のアピールを兼ねてLPガス発電機を市内30校に寄贈した。こうした地道な活動が評価され、15年には岡崎市から感謝状が贈呈された。そのような経緯から岡崎市

はLPガス、とりわけ西三エルピーガス保安センターに対し、深い理解を示していた。入札に当たり、都市ガス導管外地区の学校エアコンの設置はすべて同センターを指定した。

今回の決定に野場豊章事務長は「岡崎市には昔からLPガスに対し、理解をいただいている。さらに13年から3年間、毎年10校ずつLPガス発電機を寄贈しながら、LPガスが災害に強いエネルギーであり、有事の困難な状況時に非常に大きな力を発揮することを説明してきた。そうした積み重ねが当センターへの信頼と発注につながった」と見ている。

今回導入するGHPはすべてアイシン精機製を採用。メーターは愛知時計電機製、調整器はI・T・O製を使用する。LPガス仕様GHPの設置総数は25校で室外機150台。このうちバルク供給は3校、残りはシリンダーで供給する。

野場事務長はさらに「今後も、より一層LPガスのメリットをアピールし、給食センターや災害時に避難所となる体育館や公民館などにも積極的にGHPの設置を提案していきたい」と、設置完了後の次なる取り組みについても意欲を示している。